

相互的になる様にと工夫せらるればよいのである。

幼稚園教育と美的陶冶

倉 橋 生

(ろ)『大きい室』に於ては、一つの組が其處に来て遊戯をすることもある。唱歌をうたふこともある。或は二つの組が一緒になり、三つの組が合し、『小さい室』よりは大きい共同の訓練を與へられる。或は又全園の幼兒が一堂に會することによつて、大きい全體といふ感じを銘々の心に起させることもある。従つて茲に於ては純粹の自發的との相互的とかいふことよりも、群集の力を以てする或る教育が行はれるのである。其の爲に其の設備は『小さい室』とは別になる。たゞに『小さい室』の擴大ではないのである。然しこれは、『大きい室』が特に或る目的に用ひられた場合であつて平常自由遊戯の場所として解放せらるゝ場合は、遊園と同様なる目的が室内で行はれるといふだけで、其の條件は矢張り自發と相互とを完からしむるの他にない。

今日我國の幼稚園教育を通覽して、一般に最も發達して居ないと思ふ點は、美的陶冶の研究である。但し之れは幼稚園に限つたことではなく、すべての教育に通じて居る缺陷ではあるが、幼稚園教育に於ても、其の足らざること實に甚しいのである。即ち幼稚園教育のすべての方面が、常に訓育の上からと衛生の上からとのみ注意せられて、幼兒の美的陶冶の上に及ぼす影響といふ點からは、甚だ研究が足りない。勿論保姆の趣味を標準として、自然的に選擇はせられて居るのであるが、其の美の標準の正しい知識の研究に就て、及び各自の美的趣味の向上に就て、未だ頗る不充分と言はざるを得ない。その爲に、保育室に隨分不調和な、低い趣味の裝飾が平氣でしてあつたり、幼兒の色彩の取扱などに一寸美の知識があれば容易に

指導し得べきことが其まゝに捨て、あつたり、そ
ういふことは珍らしくないと言つてもよい位であ
る。のみならず、幼児教育上餘り重大でもないこ
との様に考へられたり言はれたりして居ることも
往々あるのである。

しかも、斯ういふ無頓着な教育を受けて居る間
に、幼児の美に對する發達は、折角の大切な時期
を無爲に過されたり、或は、時によつては悪化さ
れる様のこともあり得るのである。之れは甚だ遺
憾のこと、言はなければならない。それに反して、
平生接する處の保母が、高く豊かなる美の趣味を
有して居る人であつたならば、それこそ一言一句
一舉手一投足の間に、おのづからなる美の感化を
與へられるのである。如何に幸福なることと言ふ
べきであろうか。私は既に、そういうふ實例を屢々
見ることがあるのである。

美とか趣味とかいへば、直に贅澤なること餘計
のことの様に思ふ人がある。しかし、實際は却つ

て非常な經濟である。少くも經濟的に其の目的を
充たし得るものである。同じ額の繪を買ひにゆく
に、一人は高い價を拂うて、美的でないものを買
つて來る。一人は比較的廉なる價で、却つて美的
價値の大的なるものを買つて來る。いづれが眞の
經濟であらうか。又訓育的價値が同一で衛生的價
値が同一で、而して美の趣味の勝つて居るもののが
美の趣味の劣つて居るものに對して、何の餘計の
ことであらうか。

私は、すべての教育者殊に幼児教育者に、美の
趣味に關する修養の必要なることを平生主張して
居るものである。昨年の本誌に附録として美學講
話を連載したのも此の微意に出づるものである。
しかも、最も欲けて居るのは、此の點の修養機
關である。處が、幸にして今年のフレーベル會夏
期講習會の課目に、此の點に關する最も適切なる
題目の加へられたことは、實に愉快とするのであ
る。即ち常にあらゆる方面に完全なる保育をなさ

んとして最も熱心なる諸君が、新たに（或は既に多く注意研究せられつゝある上に）此の方面に向つて、一層研究を進めらるゝに最も適當なる機會なりと信ずるのである。

元來普通教育に於ても美的陶冶の價値の高められ、要求せられつゝあるのが現代の教育の主なる思潮の一つである。我が幼稚園教育も亦、此の新らしい教育の進歩に遅れてはならない。

○本會の講習會に就て

■家庭の教育の爲にも

教育に關する講習會といへば、所謂狹義の教育に從事せらるゝ、學校の教師諸君なり、幼稚園の保姆諸君なりの爲に限られて居て、家庭の母として、其の愛子の教育に心を籠め力を盡さるゝ方々のために催さるゝといふことは殆んどありません。之れは私共の常に遺憾とする處でありまして、料理とか裁縫とかの講習と同じく、家庭教育に關する講習會も是非必要のことと思つて居ます。而して、其の教育は學齡兒童又は青年の家庭教育に關することも大切ではあります、殊に幼兒教育に關することは最も必要であると思ひます。本會の如きも出來ることならば、母のため、

母たるんとする人のために幼兒教育の講習會を催し度いとは常に考へて居りますが、特にそういうふ會を開くといふ運びには未だ至りません。
そこで、今年の如き夏期講習會を家庭の方々も充分利用なされ、多數御來會下さつたら此の上ない幸であると思ふのであります。著書雑誌等によつては始終研究を怠つて居られない方々も、講義は一層徹底した理解を得らるゝこと、平生多く讀書の機會のない方にも、耳からの平易なる理解を得らるゝことと信じます。殊に今回の如き手技の實習によつて、簡単なる玩具の製造法を覚えらるゝのは一段と利益の多いことでせう。それに休暇中十日間許り、久しう振りの學生時代に歸らるゝのも興味多いことではありますか。本會はそういう方々の爲に出来るだけの御便宜を辭せないのであります。